

平成30年度 施策評価シート（平成29年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 05 地域福祉の推進
主管課： 社会福祉課
関係課： 市民協働推進課、児童福祉課、保健センター、介護福祉課、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	同じ地域で暮らす市民が、お互いに支え合うという高い意識を持ったまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

地域福祉活動でお互いに支え合っていると思う市民の割合					
(%) 社会福祉課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
50.60	46.90	51.10	52.00	0.00	60.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して4.2ポイント増加しています。 (原因) 地域福祉活動計画が各地区で実践されてきていることで、人と人とのつながりが徐々に広まってきていると考えます。今後は流入人口が多い地域など、地区全体に地域福祉活動が浸透しがたい要因をもつ地区においても地区の実行委員会などが活動しやすくするための仕組みづくりなどの検討を進める必要があります。			
対前年度	向上				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	53,598	469,556	869,044	1,025,150	1,024,635
人件費	0	24,683	23,845	0	0
トータルコスト	53,598	494,239	892,889	1,025,150	1,024,635

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
01 地域福祉意識の高揚と担い手育成	横ば	向上	向上			135	1,856	7,326	8,311	8,311
02 多様な地域福祉活動の推進	向上	向上	低下			9,821	9,957	10,503	10,269	10,269
03 社会福祉協議会との連携	横ば	横ば				42,454	44,523	40,200	53,248	52,700
99 施策の総合推進						1,188	413,220	811,015	953,322	953,355

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

第1期の方針を継承した第2期地域福祉計画を推進し、より多くの市民が地域福祉に関わる環境の整備に努めます。さらに、（仮称）地域福祉活動協力員制度の導入を目指します。 また、地域福祉活動の核となる社会福祉協議会について、その担う役割や活動を周知し、市民の理解を深めていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

社会福祉協議会が地域福祉の核として機能していると思う市民の割合は22.0%となっていますが、社会福祉協議会が核となり、地域福祉計画及び活動計画の実現に向けた6地区での取組が地区別実行委員会を中心に各地域で実施されています。市においても、地域に配置した担当職員を通じ、地域活動に必要な情報提供や支援を行い、地域福祉活動を推進し、成果の向上を図っています。今後は地域福祉活動を行う6地区の実行委員会のまちづくり協議会の設置動向等も踏まえ、地域の福祉活動がしやすくなるための仕組みづくりなどの検討や第2期の地域福祉計画・活動計画の周知・啓発活動への取り組みが必要となります。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画を促進し、より多くの市民が関わる環境の整備に努める。 地域生活支援整備事業の推進を図るため社会福祉協議会との連携強化に取り組む。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持